

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number 4(文科省Scheem-Dプロジェクト)

※動画で用いるスライドはPDFで動画下にリンクで貼り付けています

⑥企業から提案される大学教育のDX (後編) (2022.2.4実施 Startup Pitch and Conference)

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 学長・教授

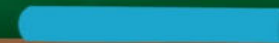
<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士(教育学)。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



Scheem-Dプロジェクト Startup Pitch and Conference

2022.2.4開催

Scheem-D

大学教育のデジタルイノベーション・イニシアティブ
(スキームD)
Startup Pitch and Conference

2022年2月4日
文部科学省 高等教育局 専門教育課
企画官 中澤恵太




MEXT Scheem-D cic Tokyo

Scheem-D

ピッチ・アクター

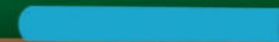
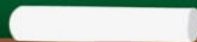
会社名	代表者氏名
アスフィール株式会社	小林 達也
株式会社4 COLORS	加山 緑郎
株式会社ウゴトル	西川 玲
Edv Future株式会社	山崎 泰正
株式会社ビジネス・ブレイクスルー	山本 彩織
株式会社スタメン	伊藤 和澄
ハイラブル株式会社	水本 武志
株式会社ハコスコ	小林 英恵
株式会社shabell	守岡 一平
株式会社I'mbesideyou	神谷 涉三
モノグサ株式会社	竹内 孝太郎
北海道大学/YUGEN	濱津 草太
株式会社レスター・コミュニケーションズ	樺石 純也



4

会場：CIC Tokyo+オンライン

企業から提案される大学教育のDX



カエルの合唱を音解析できれば、
グループワークの音声解析な
ど・・・



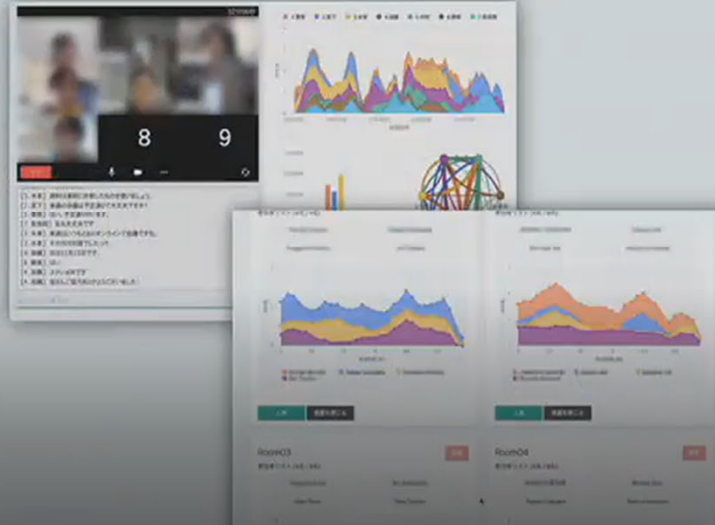
音環境分析でコミュニケーションを豊かにする

話し合いを見える化し
客観的なエビデンスを提供

対面の話し合い
Hylable Discussion



Web会議の話し合い
Hylable



ハイラブル株式会社
水本武志（代表取締役）



株式会社4COLORS
代表取締役 加山緑郎



入学おめでとうございます！

R RITSUMEIKAN



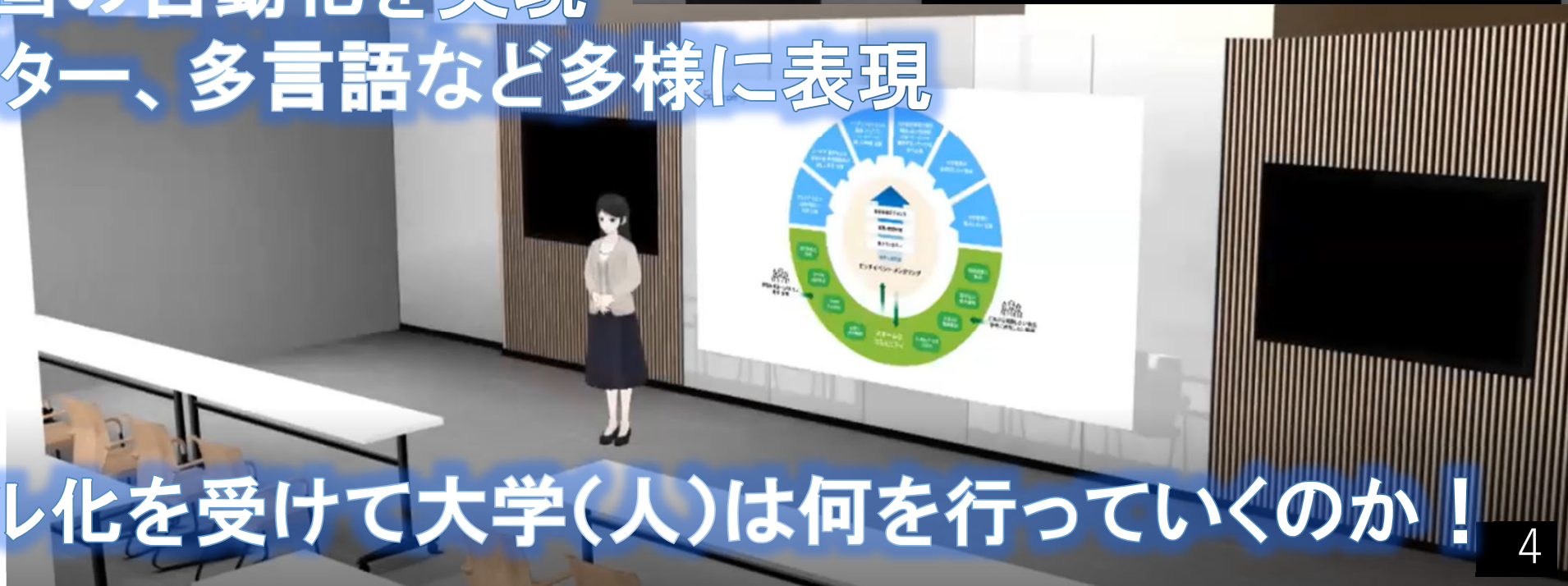
学生生活では、様々な経験ができる。

その他の進路

進学	就職	その他
◆海外（母国）の大学院	◆海外（母国）で就職	起業etc...様々な進路！
◆日本の大学院	◆日本で就職	

© 2021 Ritsumeikan Univ. Office of Career Services All rights reserved. 3

説明動画の自動化を実現 CGアバター、多言語など多様に表現



デジタル化を受けて大学(人)は何を行っていくのか！

溝上の総括講評・閉会の辞

- デジタル化が進むことで人はますます退化し、新しい世界へと誘われる。大学教育にとってこのことは何を意味するのか？
- しかし、技術の提案だけで大学教育が本質的に変わらないことを「eラーニング」「反転授業」の実践が暗に示してきた。この反省を大学教育のDXは踏まえなければいけない。



それではご覧ください

ご視聴有難うございました
チャンネル登録をお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

